

オーバーシー・チャイニーズ銀行(OCBC)

富裕層の御曹司向けにお金の扱い方を教える「ブートキャンプ」が拡大。中国人富裕層向けの成長が見込まれる

シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

BLOOMBERG OCBC:SP | REUTERS OCBC.SI

- 2025/12期2Q(4-6月)は、総収益が前年同期比2.3%減、純利益が同6.6%減。純金利収益が同6.0%減、非金利収益が同5.4%増だった。
- 貸出が伸長も純金利マージン(NIM)の縮小が加速。銀行と生命保険の合計で収益構成比が37%のウエルス・マネジメント業務が鍵を握る。
- 富裕層の御曹司向けにお金の扱い方を教える「ブートキャンプ」が拡大。資産の海外移転を加速する中国人富裕層向けの成長が見込まれる。

What is the news?

8/1発表の2025/12期2Q(4-6月)は、総収益が前年同期比2.3%減の35.47億SGD、経費率が同1.3ポイント上昇悪化の39.1%、貸倒損失引当金繰入額が同20.8%減の1.14億SGD、関連会社からの持分法投資利益が同8.2%増の2.63億SGD、純利益が同6.6%減の18.16億SGDだった。手数料・コミッション収益やトレーディング収益など非金利収益および関連会社からの収益が伸びたものの、純金利マージン(NIM)の縮小や経費率悪化が響き、減収減益となった。前四半期比では、総収益が3.0%減、純利益が3.6%減、6月末不良債権比率(NPL)が横ばいの0.9%だった。

2Qの総収益の内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比6.0%減の22.83億SGD。6月末貸出残高が同6.9%増と伸びたものの、純金利マージンが同0.28ポイント低下の1.92%へ悪化したことが響き減収となった。②非金利収益は同5.4%増の12.64億SGD。その内、主力の手数料・コミッション収益が同24.5%増の5.80億SGDだったことに加え、トレーディング収益が5.3%増の3.75億SGDと堅調に推移したことが貢献した。

How do we view this?

2025/12通期会社計画は、純金利マージン(NIM)を1.9-1.95%(従来計画2%)へ下方修正したほか、期末貸出残高伸び率が前期比1桁台半ば、経費率が40%台前半、信用コスト(1bpsが0.01%)が20-25bps(1H実績18bps)と従来計画どおり。純金利収益の減収が予想されるなかで銀行部門と生命保険部門の合計で収益構成比の37%を占めるウエルス・マネジメント業務が今後の鍵を握りそうだ。傘下の生命保険会社グレート・イースタン・ホールディングス(GEH)は、シンガポールの生命保険業界のトップ企業として、返戻金の払込み保険料総額に対する比率(返戻率)が相対的に高いこともあり、世界の富裕層を中心に投資・運用目的で高い注目を集めていることが強みとなるだろう。

また、同社傘下のプライベートバンキング部門であるバンク・オブ・シンガポール(BOS)は、超富裕層向けサービスへの注力を強化。富裕層の御曹司向けにお金の扱い方を教える「ブートキャンプ」が伸びている。参加者はブートキャンプを通じて、突然財産の管理を任された時にどのようにお金を管理すればいいのかを学ぶメリットがあり、銀行としても早い段階から次世代へアプローチできる。特に、中国共産党の「共同富裕」という公正な所得分配を重視する理念から個人資産に対する政府の監視が厳しくなるとの懸念を背景に、中国人富裕層が資産を中国以外に移す動きが加速している。中国人富裕層向けのブートキャンプ強化が今後の成長につながると見込まれる。

業績推移

※参考レート 1SGD=114.67円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
当期利益(百万SGD)	5,526	7,021	7,587	7,169	7,323
EPS(SGD)	1.22	1.55	1.67	1.58	1.63
PER(倍)	8.39	7.51	9.51	10.57	10.25
BPS(SGD)	11.37	12.05	13.18	13.54	14.23
PBR(倍)	0.90	0.97	1.21	1.23	1.17
配当(SGD)	0.68	0.82	0.85	0.97	0.94
配当利回り(%)	6.64	7.05	5.35	5.81	5.63

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.97** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **16.70** 2025/8/26

会社概要

1932年に3つの国内銀行が合併し設立。銀行、生命保険、損害保険、資産管理、投資保有、先物・株式仲介の事業を行う。5つの事業セグメントを通じて運営する。

①グローバルコンシューマー/プライベートバンキングセグメントは、個人顧客に製品とサービスを提供する。

②グローバルコーポレート/インベストメントバンキングセグメントは、大企業や公共部門から中小企業までの機関顧客にサービスを提供する。

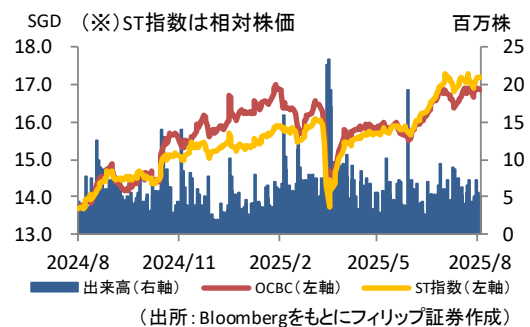
③グローバルレジャー・アードマーケットセグメントは、外国為替活動、マネーマーケットオペレーション、債券およびデリバティブ取引を行い、ストラクチャードレジャー商品および金融ソリューションを提供する。

④保険セグメントは、生命保険と一般保険を提供する。

⑤OCBC Wing Hangセグメントは、各商業銀行と関連金融サービスを提供する預金、法人・個人向け融資、投資銀行、プライベートバンキング、国際貿易金融、アセットマネジメント、株式注文取次、保険などのサービスを提供する。

企業データ(2025/8/27)

ベータ値	1.01
時価総額(百万SGD)	74,806
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	90.7



主要株主(2025/8)

1.SELAT PTE LTD	14.45
2.LEE FOUNDATION SINGAPORE	4.21
3.VANGUARD GROUP	3.07

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。